

2023年9月6日

中国電力株式会社  
代表取締役社長 中川 賢剛 様

上関原発を建てさせない山口県民連絡会  
共同代表 清水 敏保  
共同代表 内山 新吾  
事務局長 原 康司

## 上関町での「中間貯蔵施設の調査」の撤回を求める申し入れと質問

電力という社会的公益事業への精励に敬意を表します。

今回、貴社は上関町から問い合わせのあった新たな地域振興事業に、回答としてまたもや原子力・核関連事業を提案しました。しかもより一層、原子力・核の中心的課題、未解決な犠牲のみを伴うものです。私たちは唖然とし、また絶望的な思いに突き落とされています。

言うまでもなく、使用済み核燃料の中間貯蔵施設の建設案です。

第1に、中間とは、便宜的な言い方で、核燃料サイクルが破綻している現状では、無期限または最終保存施設と同義です。

第2に、どこにも安全が担保されていません。そもそも放射性物質が本質的に人間の力では無毒化できないことに加えて、南海トラフ級の地震、民間・軍事用航空機の墜落事故、いざ戦争となれば格好のターゲットとされることなど、安全であるという実証はありません。

第3に、地域振興策・町づくりとは、似ても似つかぬばかりか正反対の提案です。全国の市町村が人口減少と過疎対策として、自然や歴史の特性を活かして、子育て世代への定住・移住を呼びかけて様々な知恵を絞っているとき、「核のゴミの町」に誰が来るでしょうか。

長きにわたる貴社との上関原発計画をめぐる様々なやり取りのなかで、市民からの「なぜ原子力施設を本社のある広島市につくらないのですか」という問いに対し、ある幹部は「原子力・核は、被爆地広島では、市民感情が許さないからだ」と答えたことがあります。

以上をふまえて、私たちは、上関町における中国電力・関西電力の中間貯蔵施設の調査に反対し、貴社に下記の申し入れと質問をします。9日13日までに文書での回答をお願いします。

## 記

### 申し入れ事項

上関町での「中間貯蔵施設の調査」を撤回してください。

### 質問事項

- 1 原子力施設（発電所、中間貯蔵施設を含む）を、本社のある広島市または広島市近郊につくらないのはなぜでしょうか、お尋ねします。
- 2 都会で使う電気のために過疎地に原子力施設を押しつけることをどう思われますか。
- 3 2021年3月は、コロナ禍で「上関原発を建てさせない山口大集会」が出来なかったため、県内各地で集会を行いました。集会に「上関原発を建てさせない祝島島民の会」からメッセージが寄せられました。その一節に以下の文章があります。

「中国電力本社の敷地内には、この場所が原爆による被災を受けたことを記す碑があります。あの痛ましいできごとの記憶を忘れてはならないと広島企業として訴えているものと存じます。

しかし、その中国電力の施設によって、私たちは原発による放射能汚染のリスクを背負わされようとしています。それも広島市から遠く離れた山口県の過疎地域にです。

原爆による被ばくを人類で最初に受けた街である広島企業が、原発という核施設を建設・運転する。そして核分裂から産まれた『死の灰』による危険を他県のちいさな町の住民たちにもたらしている… これはいったいどういうことなのでしょうか？

そして万一の破局事故が起きた際には、その『死の灰』は風に運ばれ、広島街にも降り注ぐこととなるでしょう。

そのようなことは、決してあってはならないことです。」

この文章にどのような感想を持たれますか。

以上

【連絡先】〒747-0035 防府市栄町 1-2-1 日本基督教団防府教会気付  
上関原発を建てさせない山口県民連絡会  
電話 080-6331-0960（事務局次長 安藤）